

くろつち便り

内容：新年の挨拶／学習会／忘年会
黒土旅行会計報告／金曜集会／
大隅が危ない（佐多の岩ずり一辺野古埋め立て）



明けましておめでとうございます 野口幸司郎

近年にない好天気です。穏やかな三が日でしたが、会員の皆様方におかれましては、人それぞれの思いの新年をお迎えのことと拝察いたします。今年も皆様くれぐれもお身体ご自愛ください。

ところでこの一年くろつち会本来の行事であるグラウンドゴルフ、作品展、くろつち会旅行、学習会・忘年会等々を成功裏に終わることができました。これらの取り組みを通して会員の絆や連携を少なからず感じることができたのではないのでしょうか。会員の皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。

さて、皆様方新年にあたりどのような誓いや願いをされたでしょうか。その願いは人それぞれでしょうが、「家内安全」や「戦争のない平和な世界」は万人の共通した願いかと考えます。ところが、今日の社会や政治は私たちが現職時代から長年描いてきた目標とは真逆のものになってきています。特に安倍政権は憲法違反の集団的自衛権行使・駆けつけ警護の付与など歴史を逆行する様々な暴挙を進めてきています。「教え子を再び戦場に

送るな」のスローガンをなんとしても守りたいものです。

また原発政策は福島原発事故の反省もなく、また放射性廃棄物の処理問題も解決ないまま再稼働をしています。その廃棄物の地下埋蔵候補地に南大隅町が指名されることが現実味を帯びてきました。政治的弱者の過疎地が交付金という札束を餌に狙われています。その他、教育・年金・介護保険等々私たちの平凡な日常を奪っていく諸施策がめじろ押しです。

この状況では後に続く世代へ「平和な世界」「安心できる日常」をバトンタッチしていくことが困難になってきています。その打開のためにくろつち会役員会等で議論して早晩予想される衆議院総選挙や日常活動・集会活動・署名等々色々な願いをすることになりそうです。厳しい道のりではありますが・・・今年も様々な取り組みにご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年も皆様方にとって佳き一年でありますようお祈りします。

野草折々

コオニタビラコ（キク科）

今回から、飯山春男さんに身近な野草を紹介していただきます。

1回目はコオニタビラコです。コオニタビラコは春の



七草の一種です。

根生様が広がっている様が、仏像の台座に似ていることから「仏の座」とも呼ばれています。（写真は2010年1月雄川溪谷の棚田で撮影）

くろつち会旅行会計報告

| | |
|---------------------|---------|
| 1.収入 | (円) |
| ・旅行代金(29名参加) | |
| 5,860 × 29 = | 169,940 |
| 2.支出 | |
| ・旅行社(トラベルメイク)支払い | 152,610 |
| ・盛岡城入場料 | |
| 500 × 29 = | 14,500 |
| 支出合計 | 167,110 |
| 3.差引残高 | |
| (円) (円) (円) | |
| 169,940 - 167,110 = | 2,830 |

※残金2,830円は、くろつち会の会計に組み入れます。

11月30日



演題：**憲法をめぐる日本の政治状況について**

講師 鹿児島大学法科大学院 小栗実教授
文 内俊朗

○立憲主義とは何か

天皇、国務大臣、公務員は憲法を守る義務があると99条にあるのに破り、警察予備隊から自衛隊、そして次は攻撃可能な軍隊である。

○外堀から埋めていく政治手法である

国民が反対しづらい改正から始めて、本格改憲を進めて、最後は武力行使を可能にする狙いである

○大学と連携して防衛研究を進めようとしている

初年度3億円の補助金から始め、来年度は100億にして参加大学を増やそうとしている。



(内感想) 1時間余り、はきはきた声で熱心に話してくださり、「分かった」と理解した会員が多かったです。ありがとうございました。

主な質問と回答

Q1 安倍総理は憲法を変えるために PKO を やったりして、国民を慣らそうとしているのではないか。

A1 その通りです。慣れが心配です。馬毛島は気懸かりです。オスプレイなどきて軍事化が進むのではないか。奄美のミサイル基地化など、問題にする必要がある。

Q2 自衛隊を希望する若者が減っていると聞いているが。

A2 PKO が影響していると思う。入隊希望者数は大相撲の力士数に比例しているといわれている。青森県が激減、本県も減っている。保護者が心配している。

Q3 昔は塾がなかった。今は子ども達のスタートラインが違っているのではないか。

A3 教育における経済格差（貧困による格差）が広がっている。現場の教育に影響を与えている。大学の予算は減っている。

Q4 ミサイルは迎撃可能か。

A4 いつ飛んでくるか分からないミサイルの迎撃は不可能と思う。

まだまだ質問したい会員がいましたが、お腹がグーとなり、終わりました。たくさん勉強しました。周囲の知人、友人に広めたいです。

忘年会

学習会の後は、忘年会でした。学習会講師の小栗実先生も参加してくださいました。

司会/野間さん・米良さん



乾杯の音頭は上 蘭紀男さん

(右)会場のあちこちで乾杯の声(→)





五木の子守歌 論議

(← 亡き妻への想いを歌う桐原さん)

宴もたけなわ、「五木の子守歌の解釈に疑義あり」と立ち上がったのが桐原さんです。そして歌い出したのが、桐原さんにとっての「五木の子守歌」です。次はその一部です。亡くなられた妻への哀愁が漂っていました。おどま^{かんじん}ひとり身^{みよぼう}ひとり身 あん人達^{あんなん}や夫^{おとこ} 夫婦^{めうふう}添い寝^{そいね}で深眠りあなた好きよと告白しても 待てど暮らせど来ぬ便りおどま焼酎飲んで潰れて伏せる 飲んだ焼酎目から出る出るは涙かはたまた嗚咽 森の梟貫い泣き

(以下略)

桐原さんに触発されて立ち上がったのが、中村時綱さんと日高南海雄さんです。

五木村は自分の生まれ故郷(確か人吉?)に近いそうで、ご自分の解釈で歌う中村さん→

元音楽教師として黙っておれないのは日高さんです→



「五木の子守歌」には、みなさん、それぞれ思い入れがあるようで、くろつち会旅行の話で座が盛り上がりました。

日教組組合歌(左下)の後、ガンバロー三唱(右下)でお開きになりました。



金曜集会

1月6日、今年初めての金曜集会がありました。リナシティー前の交差点で、脱原発、戦争法廃止を訴えました。

その帰りです。

寿小の前を通りましたら、多くの教室で電気が煌々と点灯していました。普通の日でも異常ではあるけれど、今ではずいぶん慣れた光景になってきました。しかし今はまだ冬休みの最中ですよ。しかもだいぶ暗くなっています。



これじゃ現職は金曜集会に出ようと考えても無理だなと、改めて思いました。

(去年は電通の超過勤務、過酷労働が社会問題になりましたが、学校は例外らしい。)

次回の金曜集会は2月3日(金)17時~

明けましておめでとうございます。突然昨年のことですみません。

1月24日、「**辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会**」という会が多に来る、同行いかがかと道下勝さんに誘われて、友人、妻、4人で「**辺塚**」に出かけました。



現地についてまず驚いたのは、**白く輝く巨大な花崗岩**(=御影石)群、よほどの巨人があちこちに放り投げたような感じで、草に覆われているものや地面に半ば埋まっているものなど…、この状況が海にまで達している。しかも、この状態が数キロ先まで続いているとの説明に何か得体

のしれないものへの敬意が生まれるほどでした。

これらの石を掘り出して、**沖縄辺野古に運び、埋め立てに使うのだ**という説明に、神をも恐れぬ暴挙だと感じました。1, 2キロにもわたって掘り出すらしいというんですよ。

そして、その跡には(あるいは同時に?)、出入りしやすい港ができて、**原発のあの高レベル放射性廃棄物をひそかに運んできて地下深く埋めるための作業を開始する**という算段のようです。

地球上どこにも置くところのないといわれるものをこの小さく狭い島国、世界突出の地震国、火山国のこの日本に埋める!しかもその放射能は1万年とも10万年ともいわれる年月を生き続ける!!1万年後、地球や人間がどうなっているか、全く想像もできませんが、こんなものをこの地に残すなんて!原発で甘い汁を飲み込んだ奴らにすべての放射性廃棄物を自分の家に保管しろと叫びたくなりました。

南大隅町ではその岩石掘り出しにも高レベル廃棄物受け入れにも賛同しようという動きが既に始まっているとも聞きました。とんでもないことです。これは一つの町の問題では

ありません。大隅半島、県、日本、いや地球全体にわたる大問題です。

くろつちの高齢化を嘆いている暇はありませんね。闘い開始、そのための学習を!

この日、帰りに自衛隊射撃訓練場から見た入江群の美しさも忘れられません。

(**辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会**)

辺野古埋め立てのための土砂などは全国5か所から運ぶということで、反対するその土地の方々が、作っている会。全国から30人くらいの人々が合宿で参加。すごい)。



(写真は友人加藤氏提供です)

くろつち会会員一同様

過日、お忙しいところ、母ならびに父のために、御会葬下さいまして、誠にありがとうございました。故村山信人が、生前中に皆様方より賜りました格別な御厚情に対し、厚くお礼申し上げます。

十月十四日、午前二時四十分、享年九十六歳にて尊い生涯をとおしました。父と良き時間を分かち合ってたたくろつち会会員の皆様へ深く感謝致します。

十二月二日に、おかげさまで無事、五十日祭をすませることができました。

ここに、心ばかりの供養の印をお納め、御受け取り下さいます様、お願い申し上げます。

村山秋子(娘)

淡い花柄の便箋、そしてそこにしたためられた一文字一文字を見ますと、娘様のお人柄も伝わってきます。

頂いた5万円は、くろつち会の一般会計に組み入れるということです。

故村山先生の娘様より

故村山先生の娘様より、ご丁寧なご会葬お礼とともに、お金5万円を頂いたそうです。